

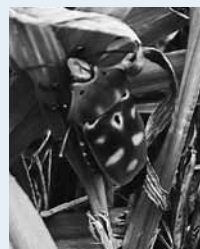
里都まちぐらしの生き物図鑑 その1

ド派手なアカギカメムシ

問合せ

産業環境課 ☎ (81) 1115

一昨年の年末、厳島湿生公園でアカギカメムシが見つかりました。中井町で確認されたのは、これが初めてです。発見したのは町内の小学生、山崎倫蔵さん。赤くてつやのある姿にひかれて飼いたいと思いましたが、においが気になり、飼育はあきらめたそうです。でも、アカギカメムシは刺激的なにおいを出さないことを知り、今度、見つけたら飼うと意気込んでいました。



アカギカメムシは南西諸島に分布し、アカメガシワという木を好みます。金亀虫（きんかめむし）の仲間で、赤や黄色の派手な色合いが特徴です。大きさは大人の小指の第一関節ほどあり、カメムシとしては目を引きまします。飛ぶ力も強く、2006年に秦野市で初めて記録されて以来、神奈川県内でもときどき見つかっています。

沖縄の写真家・湊和雄さんによると、若い個体は赤く、年をとると黄色に変わるそうです。また、肩にトゲがあるものはよく飛び、ないものはあまり飛ばない傾向があると私は考えています。今回の個体は赤くてトゲがないため、若くて飛翔性の低いタイプと考えられます。このことから、すでに県内で住み着いた可能性もあります。



アカギカメムシはアカメガシワの大きな葉の裏にいることが多いそうです。中井町内にもアカメガシワは多く見られるので、散歩の途中にのぞいてみると、また出会えるかもしれません。見つけたときは、産業環境課までお知らせください。身近な発見が、新しい記録につながるかもしれません。

文・写真◎／槐 真史（中井町生涯学習参与）

写真◎・協力／山崎倫蔵さん、山崎愛さん

中井町の薬剤師による 暮らしの健康講座 vol.72

寒さが厳しい2月は、入浴中の事故が最も多い時期です。その原因の一つが「ヒートショック」です。

ヒートショックとは、暖かい部屋から寒い脱衣所や浴室へ移動し、さらに熱いお湯に入ることによって血圧が急激に上下し、失神や心筋梗塞、脳卒中などを引き起こす現象を指します。特に65歳以上の方や、高血圧・心臓病・糖尿病のある方は注意が必要です。



今回は
ヒートショック
について話します！

なかいまち薬局
うるしばたしゅんすけ
漆畑 俊哉 薬剤師

予防のポイントは、入浴前に脱衣所や浴室を暖めること、湯温は38～40℃程度のぬるめにする、いきなり肩まで浸からず足元からゆっくり入ることです。また、入浴前後にコップ1杯の水を飲み、脱水を防ぐことも大切です。長湯や飲酒後の入浴は控えましょう。

血圧の薬や眠気を起こす薬を服用している方は、入浴時の注意点が変わる場合もあります。不安なことがあれば、かかりつけ医や薬剤師に気軽に相談してください。寒い冬こそ、少しの工夫で安全なお風呂時間を心がけましょう。